

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
1	避難所感染予防対策事業		避難者及び避難所運営職員への感染予防・拡大防止を図るため、必要な備品等を整備する。				
	事業開始	事業終期					
	R2.6	R3.5					
実施事業名・担当課			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
①避難所感染予防対策事業		総務課 安全安心係	41,964,705	39,979,277	単独	—	
②避難所感染予防対策事業（電気自動車配備）		総務課 秘書人事係	9,289,460	9,289,460	単独	—	
③避難所感染予防対策事業（小中学校体育館用品購入）		教育委員会事務局 総務学校係	1,628,000	1,628,000	単独	—	
合計			52,882,165	50,896,737			単位（円）
事業の実績	<p>①避難者及び避難所運営職員への感染予防・拡大防止を図るため、必要な備品等（マスク：70,000枚・非接触型体温計：70本・アルコール消毒薬：140本・段ボール間仕切り：560個・組立て式簡易ベッド250個・MCA携帯型無線機：20台・フェイスシールド：15,000枚・避難所テレビ：7台・自動バック式トイレ：5基・高齢者等要配慮者車両：1台・備蓄倉庫：6棟・蓄電池セット：14セット）を整備した。</p> <p>②電気自動車（可搬型給電器）2台を購入するとともに、充電用設備（200V/6kW）を整備した。</p> <p>③小中学校の体育館へ、ビッグファン（板倉中学校3台）とジェットヒーター（東小学校1台、西小学校3台、板倉中学校2台）の整備を行った。</p>						
事業の効果	<p>①各種コロナ対策備品を整備できたことにより、多くの町民が避難した際の避難所内における感染拡大防止を図ることが可能となった。</p> <p>②移動式非常用電源を確保することによって災害時の分散避難が可能となったことから、避難場所における感染リスクの低減を図ることができ、更に、従来の発電機による騒音・排気ガス等の問題も解消されたことから、避難場所の環境条件も併せて改善を図ることができた。</p> <p>③体育館内の換気を効率的に行うことができ、また、冬期は換気中も暖かさを確保しながら、感染症拡大防止ができた。</p>						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
2	公共的空間安全・安心確保事業		職員間の飛沫感染を予防するとともに、公共空間における感染機会の削減を図るため、町施設の事務室内にアクリルパーティションを設置する。				
	事業開始	事業終期					
	R2.6	R3.3					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
公共的空間安全・安心確保事業		総務課 秘書人事係	910,580	910,580	単独	—	
合計			910,580	910,580			単位 (円)
事業の実績	アクリルパーティション160個を購入し、町施設内の事務室デスク間（職員常駐スペース）、相談室及び休憩室（不特定多数者利用スペース）に常時設置した。						
事業の効果	職員間のみならず、職員・来庁者（町民及び事業者等）間の飛沫感染も予防したことにより、公共空間における感染リスクの大幅な低減を図ることができた。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的							
3	行政区感染症対策事業		多くの地域住民が利用する集会施設及び行政区が実施する行事における感染を予防するため、非接触型体温計、アルコール消毒液、ハンドソープなどを15行政区（旧行政区32単位）に配布します。							
	事業開始	事業終期								
	R2.9	R2.12								
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考			
行政区感染症対策事業		総務課 行政庶務係	446,952	446,952	単独	-				
合計			446,952	446,952			単位（円）			
事業の実績	新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、行政区の地域住民が利用する集会施設に、非接触型体温計、アルコール消毒液、ハンドソープなどを配布することができた。									
事業の効果	行政区等が実施する行事やイベントにおいて、配布したアルコール消毒液などを利用することで、多くの地域町民に新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防することができた。									

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
4	町有バス感染症防止対策事業		板倉町有バス運行における感染防止対策。				
	事業開始	事業終期					
	R2.9	R2.9					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
	町有バス感染症防止対策事業	総務課 秘書人事係	401,500	401,500	単独	—	
		合計	401,500	401,500			単位 (円)
事業の実績	町有バス車内に空気触媒による抗菌加工処理を施すとともに、運転席を囲う固定アクリルパーティションを設置した。						
事業の効果	町有バス車内に空気触媒による抗菌加工処理を施すとともに、運転席を囲う固定アクリルパーティションを設置したことにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防することができた。						

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称	事業の目的								
5	投票所等感染症対策事業	有権者が投票する投票所における感染を予防するため、3密を防ぐための飛沫防止対策、ソーシャルディスタンス、室内換気などを投票所（11か所）、期日前投票所、開票所に設置します。								
	事業開始						事業終期			
	R2.10						R2.12			
実施事業名・担当部署		総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考				
投票所等感染症対策事業		総務課 行政庶務係	2,481,138	2,481,138	単独	—				
合計		2,481,138	2,481,138			単位(円)				
事業の実績	令和2年11月8日執行、板倉町長選挙における投票所、期日前投票所及び開票所の新型コロナウイルス感染症を予防するため、感染対策に係る物品を準備することができた。（※無投票のため、使用実績なし。次年度予定の衆議院議員選挙で使用したい。）									
事業の効果	有権者が投票する投票所、期日前投票所及び開票所における新型コロナウイルス感染症の予防対策に係る物品を準備することができた。（※無投票のため、使用実績なし。次年度予定の衆議院議員選挙で使用したい。）									

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金実施事業 効果検証シート

NO	交付対象事業の名称		事業の目的				
6	役場庁舎オンライン会議環境整備事業		新しい生活様式に基づき、需要が高まりつつある外部機関との会合（会議、打ち合わせ、ヒアリング等）のオンライン化を推進するための無線ネットワーク環境を整備する。今後の利活用拡大を見込み、セキュリティを重視した仕様とし、無線範囲は会議室等を中心に必要な範囲をカバーする。				
	事業開始	事業終期					
	R2.10	R3.9					
実施事業名・担当部署			総事業費	うち、交付金充当	補助・単独	補助対象事業費	備考
役場庁舎オンライン会議環境整備事業		総務課 情報広報係	9,575,722	9,575,722	単独	—	
合計			9,575,722	9,575,722			単位 (円)
事業の実績	庁舎内に専用ファイヤーウォール及び無線コントローラを設置。併せて、各フロアのEPSを経由し、必要な箇所に向けネットワークを敷設のうえ、アクセスポイントを設置。この整備により、職員が業務に必要なエリアと、主に窓口カウンターを中心とする来庁者が必要なエリアの無線環境がカバーされた。また、職員の利用形態に応じ、Laptop型及びタブレット型の専用端末、液晶モニター等を調達した。						
事業の効果	今回の事業により整備された無線環境により、職員の会議、打ち合わせ、ヒアリング等のオンライン化への取り組みが大幅に拡大した。窓口等来庁者向け公衆無線LANを含め利活用の頻度は上昇傾向にあり、今後も有効に活用される見込み。						